

私の社会貢献 ワンエハン

社会貢献とは何でしょう。マザーテレサのよ
うに世界の貧乏な子供たちを救ったり、エジソン
のように人類の生活を更に便利にする発明をした
りするのは明らかな社会貢献ですが、私たち学生
なら何かでできるかを考えたことはありませんか。
私は一生忘れられない社会貢献の経験があります。
2013年の9月から2014年の8月まで日本の鹿児島
島で一年間交換留学をしていました。その時、「
ぎっかけバス47」というボランティア活動に参加
しました。日本全国47の都道府県から40名ずつ学
生を募集して、東北で復興活動をしたりと、当地の
ものごとを学んだりするイベントでした。「311東
日本大震災が三年も経ったし、復興活動はそろそ
ろ終わるでしょう。」とたくさんの方が思うかもし
れませんが、実際に岩手に行ってみたら、そうで
はありませんでした。地震が起る前に賑やかだっ
た商店街は2014年の三月まで何も建て直されてい
ませんでした。目の前にあったのはあちこちろ
で働いているクレーンだけでした。東北の復興活

動はまだまだ続いていきます。

岩手県から離れ、次は福島に行って放射線について勉強しました。私を含めて多くの人は知識不足のため、いろいろと誤解していました。放射線は確かに怖いですが、日本政府は除染活動をしていて、農産物も放射線量を検査してから輸出します。したがって福島や東北地方は近づいてはいけないうところではないのです。東北の果物も食べられないうわけではないのです。

私たちきっかけバス47のメンバーは東北の現状をたくさんの人に知らせて、東日本大震災のことに関心を持ってもらうために、鹿児島で学校や駅で講座を開いたり、ポスターを持って現地のことを話したりしました。まだ被災者を助けるなんて偉いことはできないかもしれませんが、東北で聞いたこと、見たこと、感じたこと、それから福島で習った正しい知識を鹿児島の人など周りの人に伝えて、東北への誤解や放射線への不安を減らすことこそ私たち学生の使命だと思っています。

自分が今やっていることは些細で、何の意味も

ないと感じますが、その結果はたくさんの人に影
響し、社会に大きな影響を与えられかもしれません。
例えば、一人が川のごみを集めても何も変わりま
せんが、その周りの人が見て同じことをしたら、
更に多くの人々が注目してごみを集めるようになり
ます。それで、この世界はもっと綺麗になるでし
ょう。これも一つの社会貢献だと思っています。

今年の1月に私はアメリカに来て、新しい留学
生活を始めました。台湾の大学の校長先生から、
「向こうで勉強と旅行の他にも、ボランティア活
動にも参加しなさいね。」と言われました。ここに
来る前に、アメリカは豊かな国だし、外国人の援
助なんて必要がないので、私に役立てるところが
ないかもしれないと思っていました。しかし、ど
の国にもきっと助けが必要な人がいると思います。
例えば、大学の近くに老人ホームがあります。私
は週末にお年寄りの方に挨拶したり、台湾の文化
を教えたりすることが出来ます。些細なことですが、
アメリカのお年寄りはきっと喜んでくれると
思います。それに加え、私は最近環境を研究する

サークルに参加しました。ここで地球の環境問題
や今後の課題を習い、帰国してから台湾の人に伝
えて、環境問題に注目してもらいたいと思います。

自分の国の人だけではなく、私はこれから世界各
国に行く予定があります。将来日本の大学院に進
学したら、アメリカで習ったこととアメリカで積
んだ社会貢献の経験を当地の人々に教えたいと思
います。

留学生である私は、自分が成長してきた社会か
ら出て、外国で勉強することが出来ます。だから
こそ、われわれ留学生はこのチャンスを大切にし、
いろいろなところで社会貢献活動をすべきだと思
います。それから、海外での体験を生かして、自
分の国やこの社会に良い影響を与えるべきだと思
います。